

東北地方 1か月予報

(7月2日から8月1日までの天候見通し)

平成17年7月1日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

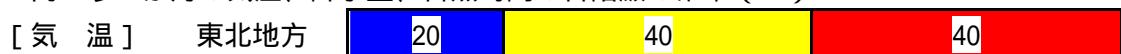
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い時期がある見込みです。

向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量は平年並が多い、日照時間は平年並でしょう。

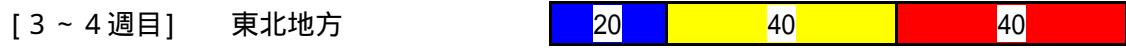
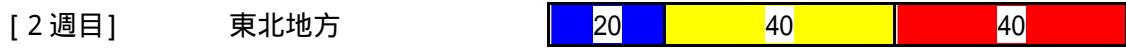
週別の気温は、1週目は平年並か低い、2週目は平年並か高い、3~4週目は平年並か高いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 7月 2日(土) ~ 8月 1日(月)

1週目 : 7月 2日(土) ~ 7月 8日(金)

2週目 : 7月 9日(土) ~ 7月 15日(金)

3~4週目 : 7月 16日(土) ~ 7月 29日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は7月8日

3か月予報:7月25日(月) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	21.1	167.8	150.7	19.4	20.3	21.9
新庄	22.4	186.4	155.2	20.7	21.5	23.2
若松	23.5	161.4	170.1	21.8	22.7	24.3
深浦	21.4	147.8	179.5	19.6	20.5	22.4
青森	21.2	103.3	179.2	19.3	20.3	22.1
むつ	19.7	121.5	153.0	17.8	18.8	20.6
八戸	20.3	115.5	169.2	18.3	19.4	21.3
秋田	22.8	179.0	173.0	21.0	21.9	23.7
盛岡	21.8	167.5	145.3	20.1	21.0	22.7
宮古	20.1	139.9	148.9	18.2	19.2	21.0
酒田	23.2	185.3	181.8	21.4	22.3	24.2
山形	23.3	145.4	156.6	21.6	22.4	24.2
仙台	22.1	161.5	129.3	20.3	21.3	23.0
石巻	21.4	130.8	149.1	19.7	20.6	22.3
福島	23.6	147.2	135.2	21.8	22.8	24.5
白河	22.0	192.8	131.8	20.4	21.4	22.8
小名浜	21.8	126.4	155.1	20.2	21.1	22.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.2~+0.6	85~114	93~108
東北日本海側	-0.3~+0.5	81~118	89~108
東北太平洋側	-0.2~+0.7	81~115	92~112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.6	-0.8~+0.7	-0.5~+0.9
東北日本海側	-0.6~+0.6	-0.7~+0.6	-0.4~+0.8
東北太平洋側	-0.9~+0.6	-0.9~+0.9	-0.4~+1.0

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成17年7月1日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月2日~8月1日):

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い時期がある見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(7月2日~7月8日):

梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いですが、東北北部の日本海側では、期間の後半は高気圧に覆われて晴れるでしょう。

期間のはじめは、梅雨前線の活発化により東北南部を中心に大雨のおそれもあります。

平均気温は平年並か低いでしょう。

2週目(7月9日~7月15日):

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(7月16日~7月29日):

前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いですが、太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い時期があるでしょう。

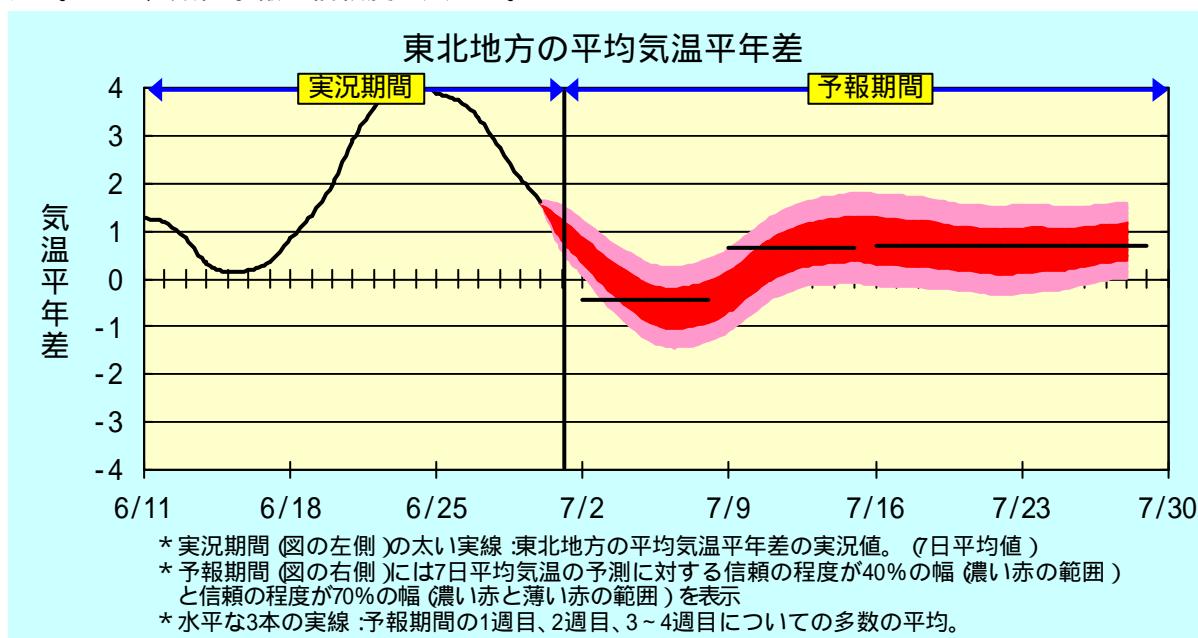
平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.0日	2.9日	2.7日	7.4日
東北太平洋側	11.2日	2.5日	2.3日	6.4日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から1週目を「平年並か低い」、2週目と3~4週目を「平年並か高い」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。



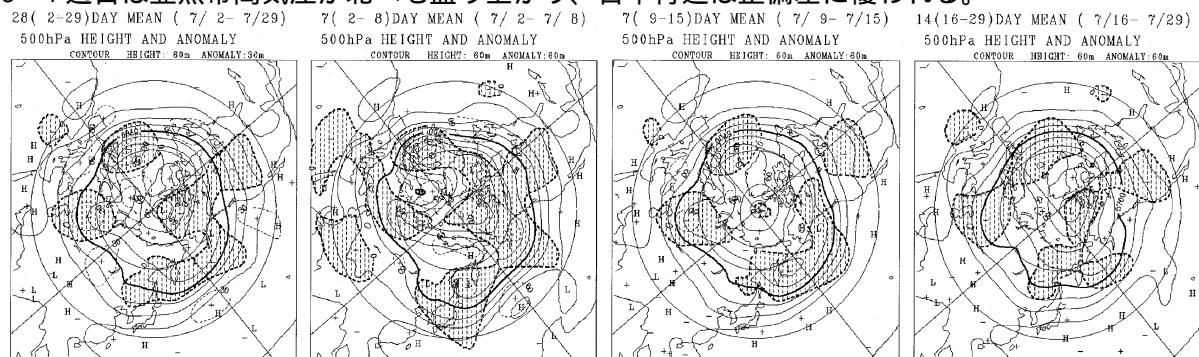
3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は平年よりも西への張り出しが強い亜熱帯高気圧に覆われ正偏差。

1週目は日本付近は負偏差。シベリアで偏西風が大きく蛇行し、高緯度では正偏差になっており、一時オホーツク海高気圧が現れる見込み。2週目は偏西風の蛇行は解消し日本付近は正偏差。

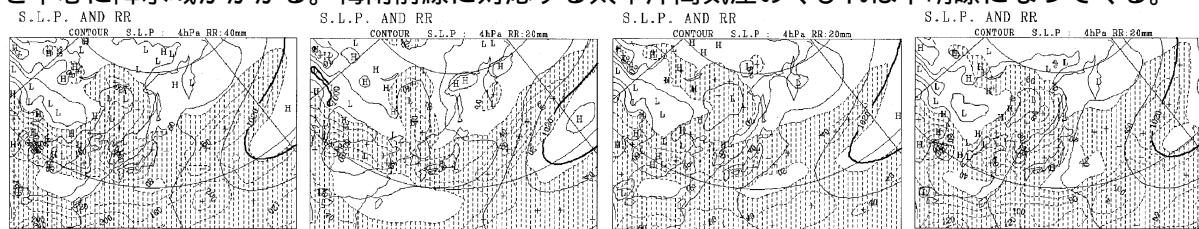
3~4週目は亜熱帯高気圧が北へも盛り上がり、日本付近は正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近は東西に帯状に伸びるまとまった降水域が予想されている。

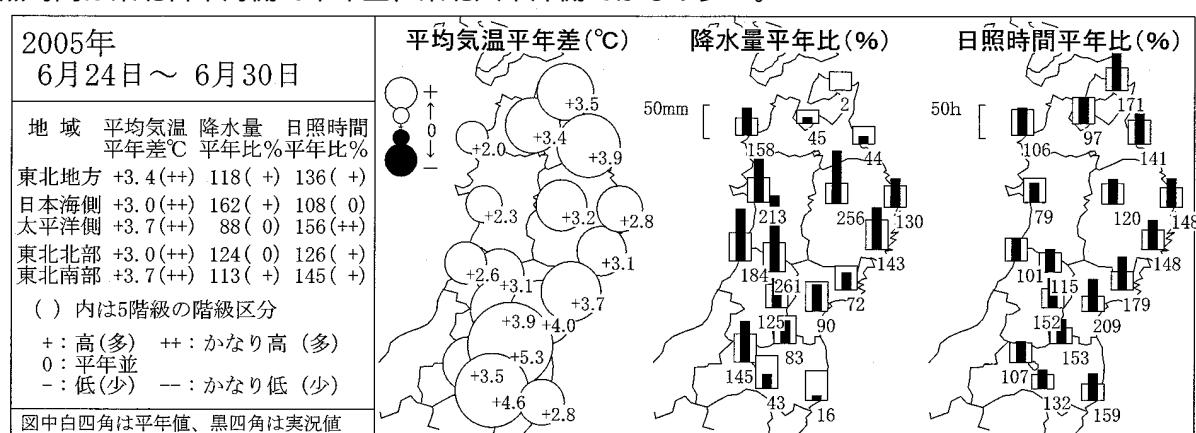
1週目は、太平洋高気圧の勢力は弱く、降水域が東日本から西日本を中心に東西に伸びる。オホーツク海には高気圧がみられ一時オホーツク海高気圧の影響を受ける見込み。2週目は、太平洋高気圧がやや強まり、降水域もやや北上する。3~4週目は日本の東は降水域がかからず日本海を中心に降水域がかかる。梅雨前線に対応する太平洋高気圧のくびれは不明瞭になってくる。



4. 最近1週間（6月24日～6月30日）の天候の経過

この期間、24~26日は、太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い所が多かった。27~28日は梅雨前線が東北地方にかかり、日本海側を中心に大雨となった。29~30日は、梅雨前線が南に下がったため晴れる所が多かった。なお、東北北部は27日頃梅雨入りしたと見られる。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）